

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・北陸新幹線延伸、名刹ご開帳、大河ドラマ効果に期待が持てる。
		コンビニ（経営者）	・春めいてきて人の動きも活発になってきた。雪の心配がなくなったのが一番である。雨は一時のことなので、よほど災害につながるような豪雨でない限りは数日降る長雨でも2日目は通常どおりに戻る。きめこまかな品ぞろえや接客でここ2～3か月は数字が伸びる。
		観光型ホテル（経営者）	・国の観光施策として大きな助成金が有効に働くと思うことと、4月からはタイのソクラン等インバウンドが増加する見込みで、更に5月はゴールデンウィークがあるので、現在よりは良くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・春、新年度を迎えることにより客の動きがやや良くなり、購買力も上がるのではないかと期待している。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当店では今、学校関係の新入学生の販売を進めており、毎日ちょこちょこ注文が入ってきている。こういう状況から、少しは良くなるのかという感じがしている。実際なかなか良くなるようなことはないが、頑張っていきたい。
		百貨店（営業担当）	・株価も堅調に上がっているということと、春闘、春を迎え賃上げの雰囲気も徐々に出ているので、すべてではないにせよ賃上げ傾向が表れてくると思うので、今より悪くなることはない。若干上向くような気がしている。
		百貨店（店長）	・株価が上昇し、上場企業は好業績との報道があるが、3～4月にかけて円安による原材料費の高騰で、複数社から商品値上げの話が来ている。節約志向は続くだろうが、ベースアップに期待している。
		スーパー（総務担当）	・消費税増税の影響についても、本当に微々たるものだが、9掛けとはいえ徐々に売上が上がってきている感じがするので、先行きは多少良くなる。
		スーパー（統括）	・今年の春闘はベースアップや賞与支給率の上昇が予測され、報道が出てくるにつれ、多少なりとも消費マインドが好転すると期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今年は4～5月に名刺のご開帳が行われるので当地域もある程度盛り上がるのではないかと考えている。また、昨年のような消費税増税の後遺症もなくなるので、多少の上向きが期待できるとみている。
		コンビニ（経営者）	・円安、株高で一部大企業には追い風であるが、日本の抱える人口減少、高齢者社会、消費税増税等、先行きに不安を感じるため、消費には厳しい環境が続く。そのような状況下ではあるが、賃金増や企業業績改善でやや良くなるのではないかとと思う。
		衣料品専門店（統括）	・これから2～3か月後は、やはり季節的なこともあると思うが、気温の変化とともに消費者の動きが良くなってくる。街の中にも人が多くなってくると思うので、歳末から正月、2月にかけてよりは良くなる可能性がある。
		住関連専門店（経営者）	・今回、全国的な規模での給与の見直しが実践されれば、多少は消費活動が活性化するように思う。地方企業においても従業員の確保のために前年を上回る賃金増が行われるとみている。人手の問題でも、求人数は増加傾向にあり、経営環境はあまり良くないもの間違いなく賃金は増加すると考えている。
		一般レストラン（経営者）	・今がとにかく悪いので、天候と共に明るい状況が増えてくれないとならないところだが、とは言え地方が本当に潤うようになるかは疑問である。
		一般レストラン（経営者）	・近隣都市の自動車工場が好調であり、工場に部品を供給する企業の業績も良くなりつつある。そうした企業でこの春の賃上げが大幅に実施されれば消費に回る分が増え、地元小売業にも良い影響が出始めるのではないだろうか。
		一般レストラン（経営者）	・2月後半に入り、客足も多少増えており、出控えの反動か多少明るいムードがある。
		スナック（経営者）	・北陸新幹線の延伸と名刺のご開帳が重なるので4～5月は良くなってもらわないと困る。
		観光型旅館（経営者）	・春になると県外からの客も動き出すため、前年並みとなり、現状よりは回復する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・北陸新幹線の延伸や名刺のご開帳などがあり、当地域は非常に活性化しているので、2～3か月先までは景気は良くなる。ただし、それ以降は不明である。

	都市型ホテル（副支配人）	・予約状況から、インバウンド関係だけではなく、スポーツ関係を始めとした団体予約も好調に入ってきている。今後の個人予約の動向にもよるが、少なくとも前年より落ち込むことはないのではと判断している。
	旅行代理店（所長）	・オフシーズンからオンシーズンに入るので景気は自然と良くなるが、あわせて地区内にある神社、仏閣の式年遠忌イベントがあるので来客数の増加が見込まれる。
	旅行代理店（営業担当）	・4～6月にかけて旅行需要が高まるため、やや良くなる。
	テーマパーク（職員）	・昨年に比べて冬後半の天候が良い日が多いことから、来客数が伸びるのではと期待している。
	観光名所（職員）	・3月の北陸新幹線延伸、4月からの観光シーズン開始に伴う来客増に期待している。
	ゴルフ場（支配人）	・気温の上昇とともに予約が良好な方向に向かう。今月、来場者の予約はよく入ってきている。
	設計事務所（所長）	・決算月を迎えるのでイベントや折り込みなどを企画している。今月よりは活気があり、良い方向に向かうのではないかと期待したい。
変わらない	商店街（代表者）	・陽気が良くなり出かける機会が多くなる。前年同時期は良い数字が取れたが、天気次第ではないか。
	商店街（代表者）	・今月の半ばごろまではガソリン価格も低かったがここにきて非常に上がってきている。また、雪と寒さで確実に必要な物は買うが、必要でないものはほとんど買わなくなっている。先行きもこのままいきそうである。
	商店街（代表者）	・まだこれから高校入試があり、高校生への販売がある。また、入学すればクラブ等も始まるので、この2～3か月はなんとか変わりなく商売していける。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・統一地方選挙が話題にのぼっているが、選挙は景気浮上とはならない。当業界は仕入値が高止まりしているため、客も考えて買物している。寒さが続いているので、暖くなるまでは人の動きは悪い。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新年度に向けて、商品の動き、売上増を願いたいところだが、今のように商品の動きが悪いと大型店同士の価格競争に巻き込まれ消費者が価格に走り、付加価値を売る専門店や小売店はますます厳しい状況である。消費者が価格に左右されているうちは景気が良くなる要素はない。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・悪いまま推移する。末端消費の回復に対する施策がほとんどない。
	百貨店（営業担当）	・昨年は消費税増税により3月と4月以降とで明暗がはっきり分かれたが、今年は当月までの売上の流れをベースに考えると大きく変わる要因が見当たらない。
	百貨店（販売促進担当）	・地方都市では給与増等の可処分所得の増加も見込めず、インバウンド需要等のプラス与件も皆無であり、依然として厳しい状況が見込まれる。
	百貨店（店長）	・消費動向は弱い。
	スーパー（経営者）	・個人消費の傾向は変わらない。
	スーパー（店長）	・消費税増税から一巡する時期となるので、感覚的には消費は順調に感じると思う。
	スーパー（商品部担当）	・今年度に入り、主要商材の値上げ傾向が消費者の購買行動にどう影響するのかがみえない。過去の値上げでの変動傾向を見ると変化がないように感じられる。
	コンビニ（経営者）	・これ以上は悪くならないと思う。
	コンビニ（経営者）	・来客数はいくらか増えてはいるが、客単価が低いので、今後も変わらない。
	家電量販店（営業担当）	・景気は地方にはまだ届いていない。中小企業の仕入量が増えず、最低限の購入しかない状態である。
	乗用車販売店（経営者）	・3月の決算時期を過ぎると受注は減少する。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー減税も減税幅が縮小される4月以降は販売量が減ることが懸念される。
	乗用車販売店（販売担当）	・例年3～4月は就職の決まった新卒者などが車の購入を考える時期だが、今年は1～2月が極端に悪かったので、販売台数はさほど増えるとは思っていない。ミニ展示会やチラシは配っているものの、来客数が極端に少ないので、そんなに伸びる要素はなく、現状維持である。
	乗用車販売店（統括）	・毎年、年度替わりの4月は市場が静かになってしまうためである。
	乗用車販売店（営業担当）	・この時期になると少子高齢化、人口減、若者のクルマ離れの影響を痛感する。既存ユーザーとの付き合いがより一層大事になってくる。

乗用車販売店（販売担当）	・今月は中旬、車の販売が好調だったのでこのままいくのかと思っていたが、前回と同じで下旬になってからやはり少し冷え込んでしまった。これから年度末なのでもう少し良くなるかと期待しているが、このような状況がずっと続いているので変わらない。
乗用車販売店（管理担当）	・依然円安状態は続き、ガソリン単価は徐々に上昇するなか、自動車業界が国内での生産を増やす方向にならないと労働者雇用と収入が増加せず、経済活性化につながらない。年金生活の高齢者の節約志向は更に強くなる。
住関連専門店（店長）	・3月までは現在の状況が続く。4月から給与がもし上がるようであれば、ゴールデンウィークごろからは来客数が増えるかと期待できる。
住関連専門店（仕入担当）	・昨年消費税増税前の駆け込み需要と反動減のあった3～4月を越えないと、消費が上向きかどうかの判断をつけにくい。
一般レストラン（経営者）	・都市部では良い方向に向かっているということだが、地方においてはなかなか景気が上向いていかない状況にある。先行きもあまり変わらない。
スナック（経営者）	・新年度になり良くなるように期待をしたい。変わらないと回答したが正直なところは分からないということである。
都市型ホテル（スタッフ）	・年末から宿泊単価の設定を上げており、かつ宿泊者数は減少していない。しかし、現状の単価設定から更に上げる予定は今のところないので様子見というところである。
都市型ホテル（営業担当）	・世の中の景気は少し良くなっているが、客の動きを見ている限りでは極端に良くなるようには見えないので、変わらない。
旅行代理店（従業員）	・良くなるような理由が見当たらない。
タクシー運転手	・居酒屋等からの注文が少なくなっている。
タクシー（経営者）	・2月の動きをみるとこの先も変わらない。
タクシー（役員）	・乗車した客の様子から判断すると変わらない。
通信会社（営業担当）	・前年の消費税増税前の駆け込み需要と比較すると、販売数の低下が予測される。
通信会社（局長）	・原油価格の下落などは景気回復の好材料に思われ、企業活動の活況に寄与しているものの、個人消費の拡大にはつながっていない。この先も景気回復の原動力になる材料が見当たらない。
通信会社（局長）	・解約数に関しても大きな変化がないため、変わらない。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上がほぼ同額で推移しているからである。
美容室（経営者）	・これから3月に向かって卒業式や入学式、引越等のイベントも控え、来店頻度が少しずつ増える予定であるが、激戦である。
その他サービス [イベント企画]（職員）	・ガソリン価格の値下がり等、期待感はあるが、好況感を実感できるまでは変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・来月の北陸新幹線の開業により石川、富山への興味が増し、それに伴い長野は首都圏からの通過県となってしまう。
住宅販売会社（経営者）	・消費税増税8%で特需の影響もあり、このまま状況が変わる要因は少ない。
やや悪くなる	
一般小売店 [青果]（店長）	・当市は合併を何度か繰り返したにもかかわらず県内で人口減少率トップクラスである。大企業もいくつか存在したのに人口がかなり減少している。下請の業績が良ならず、人口も増えないのでは、小売につながらない。
百貨店（店長）	・無駄な購買をしない節約傾向は更に強くなり、今年度は前年のような消費税での駆け込み需要もないことから、厳しさは増してくるかと考えている。
コンビニ（店長）	・3月以降は売価がかなり上がることになるので、客の来店頻度は現在よりもかなり少なくなる。
コンビニ（店長）	・今月は閉店が1軒あったが、今度は新店オープンということでまた同業他社が出てくるので、影響を受けて2～3か月後は若干悪くなっていく。
衣料品専門店（販売担当）	・昨年の消費税増税後から2～3か月ごとに繰り返してみられる流れだが、買物を我慢して我慢して、その後我慢の限界を越えて一時的に買物に走るというパターンが続いている気がする。ただし、それが徐々に先細りになっている実感がある。これからも身の回りの品、台所用品、家庭用品などが少しずつ値上がりしていくと、ますます買物を控えるようになるので、幾分悪くなっていくのかなと考えている。
乗用車販売店（経営者）	・4月になると駆け込み需要も一段落し、建設関連も仕事はあるが人手不足で進捗率が今一つのようなので、自助努力で頑張ろうと思う。

		自動車備品販売店（経営者）	・3か月後は自動車の取得税、重量税、軽自動車の税金が上がるため、前年同様にその後の取引が縮小すると予想されるため、あまり良い傾向にはない。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・例年の状況からいくと使用量が2割ぐらい減るので、現状からするとさらにプラス1割ぐらいは減っていく。
		旅行代理店（副支店長）	・旅行費用の値上げやバスの運賃改定が目立ち、更に客足が遠のく可能性が高い。海外では、イスラム国の不安要素で修学旅行や企業出張など、旅行を中止とするケースも出てきている。今後は今以上に厳しい状況となる。
		通信会社（経営者）	・通信など業界内の競争が激しくなっているためである。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・例年異動時期であるが月ぎめの契約台数等が伸び悩んでいる。総体的な単価は横ばいなので、やや悪くなるという判断である。
		設計事務所（経営者）	・新しい仕事がなく手が余ってくる。
		設計事務所（所長）	・昨年中は建設会社に見積依頼を断られることが多々あったが、最近は営業マンが顔を出すようになり、来月以降、是非、ということである。これは昨年と比べて確実に仕事量が減少しているということだと思われる。
	悪くなる	タクシー運転手	・地方では、良くなる兆しがみえない。
		通信会社（経営者）	・LPガス販売部門について、原油安により仕入れコストが低下したものの、販売価格も値下げをせざるを得ず、利益率の上昇は若干にすぎない。また、来年度から始まるという電気の全面自由化、さらには都市ガスの自由化は大手には追い風となるかもしれないが、地方の中小零細は廃業せよと宣告を受けたようなものである。ただでさえ人口減で先行きは暗い中で、中小零細企業に廃業を促しておきながら地方創生とはちぐはぐである。零細企業を救わずして地方創生はない。このままではただ格差が広がる一方である。
		通信会社（経営者）	・地方の冷え込みはいまだに加速している。
企業動向 関連 (北関東)	良くなる	食品品製造業（営業統括）	・国内では最近赤ワインが飲まれるようになり、県内においては中国、東南アジアからの観光客が大幅に増えて、ワインの消費の順調な伸びが見込まれる。また、最近第七次ワインブームと話題になりつつあり、健康面のこともあり、今後も更に伸びが期待される状況である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の輸出増により先行きも良くなる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・今年の10月までに合計3.2メガの発電が開始予定である。本業の環境装置の販売とレンタルリースが順調のため、太陽光発電の増大につながっている。
	やや良くなる	食品品製造業（製造担当）	・価格が上がり、今までと同じように注文がもらえれば良くなるはずである。ただ、原料が上がっても値上げをしない会社もあるので、注文を取られる可能性もあり、一概に良くなるとは言えない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の既存部品で久々の増産情報が入ってきている。また、停滞気味だった自動車試作開発案件も通常のボリュームに戻り、しばらく動きがなかった油圧ショベル向けの仕事も若干の増産に転じる見込みである。
		建設業（開発担当）	・公共工事は現政権になってから2期連続増加しており、地方経済への効果は大きい。当社の受注も前年比10%増となっている。ただし、経営においては、首都圏の建設ラッシュにより上がってしまった材料費、人件費の影響が問題で、財政基盤も厳しく、賞与支給もできない状況が続いている。また、10年以上続いた建設不況による作業員の高齢化で人員不足も生じている。
		建設業（総務担当）	・公共工事の新年度予算が大分ついているという情報もあるので、上向いてくるのではないかと期待している。
		金融業（調査担当）	・即効性のある景気刺激策も見当たらず、所得の改善ペースも緩慢なままの状況が続く見通しである。北陸新幹線開通や4月の名刺ご開帳などによる観光客の増加に期待したい。
		金融業（経営企画担当）	・製造業で今後の見通しを上向きと判断する企業が多い。また、サービス業においても消費が上向きと判断する企業が増えている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数が増加しており、今後受注量の増加が見込めるので、売上につながると予測している。
	変わらない	化学工業（経営者）	・明らかに受注増につながると思われる情報がまだ少なく、現状維持に苦勞する状況が続くと思われる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・春の記念品動向も最近では予想がつかず ホームページのリニューアル、フェイスブック等々でも顧客の呼び込みに力を入れている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・景気が良いとは言えない状態である。

	金属製品製造業（経営者）	・先のことははっきりせず、期待はしているものの、仕事は出てこないと分からないので、今後の心配である。
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量にほとんど変化がない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現在一時的に仕事が増えているが、長期的契約はなく、予断は許さない状況である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・年度末でもあり現在は忙しさも継続しているが、今後は民間の設備投資が増えていないので不透明な面もある。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・これからますます仕事のない会社はなく、仕事のある会社はあるような状況となる。ここ数か月や1～2年で右肩上がりで景気が良くなることはない。仕事は増えたり減ったりするが、当社は得意先が十数社あるので、なんとかうまく調整し、仕事のないときはある会社に営業して頑張るしかない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・円安の影響を受け延び延びとなっていたが2月から10～20%近く価格を改定した。仕入を抑えてきたため客は新しい商品を欲しがっているが、価格での折り合いがつかない。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	輸送業（営業担当）	・新年度を迎えるにあたっての引越依頼、白物家電や新生活関連のインテリア材料などの物量は増えてくるが、前年の消費税増税前の需要高で伸びた分、今年は少なくなる見通しである。
	通信業（経営者）	・変わりそうな要素がない。
	金融業（役員）	・建設業等においては資材の高騰、人工の賃金の値上げ、工賃の値上げ等により収益が非常に厳しい状況となっている。製造業等では市場のパイが少なく、二次、三次下請が過当競争にさらされており、収益確保が難しい状況である。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・大型店の役員が売上の数字を確保していくためには、チラシなどの宣伝を定期的に継続していかなくては達成できなくなっていると話している。
	経営コンサルタント	・年度が変わるまでは個人消費や企業の設備投資、生産活動などが助走段階にあり、本格的な上昇にはまだ時間がかかる。
	司法書士	・将来につながるような依頼はなかなか来ないので、あまり大きな期待は持てない。
	社会保険労務士	・消費の低迷や原材料の高騰により、中小零細企業の多くは今年も賃上げがないと思われる。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（営業担当）
		・紙代の値上げが3月になりそうである。10%の値上げというところで、その分を取り戻せるか心配なところがある。
		電気機械器具製造業（経営者）
		・新規の製品の発売とか特に売れている製品があるというわけではないので、当社としてはこの2～3か月は厳しい状況が続く。増産ではなく、減産の話ばかり出てきているので非常に厳しくなる。
		広告代理店（営業担当）
		・年度末までの納品物の発注が、前年より1割程度少ない。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）
		・相変わらず資金繰りが大変である。
		電気機械器具製造業（経営者）
		・取引先からも4月以降の生産計画は厳しい状況との説明を受けている。
		不動産業（管理担当）
		・他社に仕事を取られるなど、特に清掃委託部門の受注減が止まらないので、今後の業務量の先細りが懸念される。
雇用 関連  (北関東)	良くなる	人材派遣会社（経営者）
		・このところ仕事が出てきているので、2～3か月先は良くなる。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）
		・新年度に向けて物流も動き始めたようである。新学期や新入学等での学用品、附帯する商品の販売効果を狙った宣伝なども増加傾向で、求人等も多くみられる。また、例年年度末近くなると公共事業関連で動きがあり、土木建築、主に道路関係の仕事が出てくる。サービス業の募集も引き続き出てくる見込みである。
		人材派遣会社（管理担当）
	・新社会人、新入学により、携帯電話の入替需要があるため、下取り業務が増えると予想している。	
	人材派遣会社（支社長）	
	・断られ続けても企業側は求人辞めず、非常に強気である。人選を催促され、断ったり、事情を説明するのに四苦八苦するケースも多い。	
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）
		・ベースアップ等の話が出ない企業が多い。
		求人情報誌製作会社（経営者）
		・今後も中小、零細企業の早い時期での景気上昇は見込めない。その中でも製造を中心に派遣会社の求人は多少増えてくる。
		職業安定所（職員）
		・景気が良い業種もあれば悪い業種もあり、横ばいなのではないか。最近、宝飾業界が厳しいという話をよく耳にする。一方、食品製造の一部で仕事が忙しいという話もある。

	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比を若干上回ったものの、相変わらず、医療、福祉や期間求人が目立っている。また、新規求職者の減少傾向に歯止めがかかったが、一過性の要因もあることから今後の様子をうかがう必要がある。
	職業安定所（職員）	・業務量はそれほど増加していないが、業種、職種によって人手不足とする企業が多くなっているために求人が増加していることも考えられる。
	職業安定所（職員）	・企業への事業所訪問時のヒアリングにおいて、多くの企業で景気に対する慎重姿勢が根強くあると感じる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・有効求人倍率は良くなってきているものの、職種によりばらつきが多く、正社員採用には変化がない。また、大手メーカーが工場を閉鎖するといった企業間の温度差も激しくなっている。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・年度の前半に比べ、年末等に退職した一般の求職者が増えているように感じる。転職も含めて求人活動が活発化してきているようである。ただし、就職試験のレベルは今までどおり高く設定され、企業が選ぶという状況は変わらない。
やや悪くなる	○	○
悪くなる	—	—